

より自然な聞こえで これからの暮らしに 「楽しみ」をもたらしていく

リオネットシリーズ

補聴器は初めてつけた瞬間から、人生をともしするパートナーになる。だからこそ、自然な聞こえにこだわりたい。72年の歴史を有する国産補聴器メーカー、リオネットの思いが、また一歩補聴器を進化させた。最新機種「リオネットシリーズ」が目指したのは、つけていることを忘れるほど自然な聞こえ。その根幹を支えるのが「リオネットエンジン」と呼ばれるデジタル信号処理ユニットである。

「音がぼやける」「揺られて聞こえる」など、うまく言葉にはできないけれど、確かに感じる「聞こえの違和感」。それを解消するのが、「リオネットエンジン」。リオネットの培ってきた補聴技術の結晶です。

開発に携わった同社の中野達也さんはこう話す。

最大の特徴は、補聴器から耳に入る音の時間遅れに注目した点である。デジタル補聴器の音はICチップの処理によるタイムラグが生じるため、実際の音よりもごくわずかに遅れて耳に

入る。「意識に上るか上らないか」という微妙な音の遅れが、形容しがい違和感の原因になっていました。そこで「リオネットエンジン」は処理速度を高めて「時間遅れ」を限界まで縮めています。

このほか、音が響きやすい場所のでクリアな聞こえを助ける残響抑制機能も新たに搭載。不快なピーピー音を抑制するハウリングキャンセラーや、音声を明瞭にするリオネット独自の音声強調（SSStyper）についても、

これまで以上に精度を高めて自然な聞こえに近づけている。「聞こえにくい」というマイナスをゼロにするのではなく、聞こえることで日々が楽しくなる。暮らしに「プラス」をもたらす補聴器でありたいと思っています。

細部まで計算された 使いやすいフォルム

耳かけ型補聴器のケースカバーには高級車やジュエリーを思わせる深みのある9色のバリ

エーションがそろうっている。光沢感の異なる2トーンの組み合わせは、耳元では小さく見える効果を生み出す。スタイリッシュなデザインがもたらすのは美観だけではない。使いやすいの工夫もこの形に詰

まっている。例えば、つんと尖った突起は実は音量などの操作ボタンになっている。「突起を触れば指先の感覚だけでボタンの位置を把握できます。押しときのカチツという感触も心地良さのポイントです」

また全体のゆるやかなカーブは日本人の耳の形にフィットする最適な曲率を計算したものの。こうした配慮は、72年の歴史を持つ国産メーカーならではの。リオネットというブランド名を冠した最上級モデルだけあって、細部まで妥協はない。それでも中野さんは「高機能になっても、使っていただければ意味はありません」と話す。

「お客様に使い続けていただき、聞こえを通じて豊かな暮らしの一助となる。それがリオネットの目指す理想であり、そうなるべく初めて、補聴器に価値が生まれると信じています」

使いやすさを細部まで計算したケースデザイン



装着時においてもボタンの位置を容易に把握・操作できる。

親指で支えながら操作できるため安定する。

電池を+-どちら向きに入れても作動する「おまかせ回路」も搭載。

これから楽しむ人の補聴器

RIONET

リオネット



お近くのリオネット補聴器専門店のご案内、カタログのご請求は

ふくみみならう

フリーダイヤル

0120-2933-76

受付時間
9:00~21:00

Quality of Sound, Quality of Service
リオネット補聴器

リオン株式会社 本社・営業部 〒185-8533 東京都分寺市東元町3-20-41 TEL.042-359-7880 FAX.042-359-7441

販売名：補聴器HI-C3AA 補聴器HI-C3AB 補聴器HI-C1AA 補聴器HI-C1AB 補聴器HI-C2AA 補聴器HI-C2AB 補聴器HI-G8AA 補聴器HI-G8AB 補聴器HI-G7AA 補聴器HI-G7AB
補聴器HB-A3AA 補聴器HB-A3AB 補聴器HB-A5AA 補聴器HB-A5AB

●聞こえが気になったら、まずは耳鼻咽喉科での診療をお勧めします。●補聴器は使用開始前に個々の聴力や「聞こえ」の程度に合わせてフィッティング(調整)することが必要です。



中野達也

リオン 医療機器事業部
第一開発部 補聴器開発一課